

株主のみなさまへ

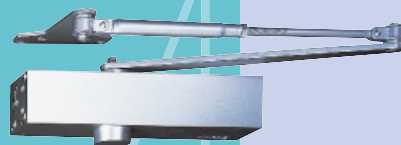
第90期 報告書

平成13年4月1日から平成14年3月31日まで



DIE CASTINGS

PRINTING EQUIPMENT



BUILDERS' HARDWARE

POWER TOOLS



RYOBI
リョービ株式会社



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素のご支援、ご愛顧に対し、厚くお礼申し上げますとともに、今後とも末永くご愛顧をいただきますようお願い申し上げます。

第90期報告書をお届けするにあたり、経営施策及び業績の概況等についてご報告申し上げます。

経営健全化計画

当社はかねてより、各事業の規模の適正化と体質の強化をはかり、高収益体質への転換を推進してまいりましたが、改めて抜本的な見直しを行い「経営健全化計画」（平成12年3月29日付発表）を策定し、実行しております。

この計画のねらいは、不採算の事業は事業譲渡なども念頭におきながら思い切った見直しを行い、ダイカストや印刷機器などの得意分野へ可能な限り経営資源を集中配分し、安定的な高収益体質を構築するところにあります。事業別の取り組みの方向性及び進捗状況は次のとおりです。

(1) ダイカスト事業

世界トップクラスの專業ダイカストメーカーとしてのノウハウ、日米欧3極での生産体制などを活かし、世界の自動車メーカーとの関係強化・拡充をはかっております。また、電機・通信など自動車以外の分野へも積極的に拡販しております。軽量かつ耐久性に富み、リサイクル性に優れたアルミニウムダイカストは、省

エネルギー、省資源など環境保全にも有効な技術として、あらゆる分野から注目されております。

(2) 印刷機器事業

精度の高い多色化と、機能の高度化を追求し、世界市場での評価をいっそう強固にするため新商品の開発、生産力・販売力の強化などを進めております。IT化、デジタル化への対応、小型印刷機から中型印刷機への分野拡大などにより、当社の特徴であるプリプレスからプレスまでを提供するトータルプリンティングシステムの充実に取り組んでおります。

(3) 電動工具事業

同事業の不採算な部分については、譲渡も含めて抜本的な見直しをいたしました。

北米の電動工具事業（4社）は平成12年8月、欧州の販売子会社（2社）は平成13年8月、オセアニアの販売子会社（2社）は平成14年3月、それぞれTechTronic Industries社（香港）へ譲渡いたしました。北米園芸用機器事業（4社）は平成12年6月、MTD Products社（米国）へ譲渡いたしました。国内の電動工具事業は、グループ全体の横断的管理の強化、組織のスリム化、人員の削減並びに機種別の統廃合等を行い、収益性の向上、競争力の強化をはかっております。特に中国・大連の製造子会社への生産移管を加速するなど、コスト競争力のある生産体制の構築を進めております。

(4) 建築用品事業

主力のドアクロージャなどの生産を中国・大連の製造子会社へ移管するなど、海外で生産する強みを活かした価格競争力のある商品の生産、特徴のある商品の開発などにより、収益性の向上をはかっております。

(5) その他

釣具事業は平成12年9月、株式会社上州屋へ譲渡いたしました。スポーツ用品事業は平成14年5月末をもって事業を終結する決定をし、そのための取り組みを進めてきました。

これらに伴いグループ社員数は平成11年3月末の



9,119人から、平成12年3月末は8,624人、平成13年3月末は6,679人、平成14年3月末は6,286人(前期末比393人減、5.9%減)となりました。

業績の概況

当期は米国経済の減速やIT関連産業の不振が深刻化する中、わが国経済は雇用情勢の悪化、個人消費の低迷が続き、実質成長率もマイナスに転じるなど、経営環境は一段と厳しさを増しました。

このような状況下ではスピードを上げて諸施策を実行することがいっそう重要であると認識しております。当社は各事業において積極的な販売活動を進めるとともに、ユーザーニーズをとらえた新商品の開発、原価低減や経費削減、業務の効率化などを実行してまいりました。また、「経営健全化計画」に基づき、引き続き事業構造の抜本的な見直しと変革に注力してまいりました。

当期の売上高は1,015億95百万円(前期比10.7%減)となり、うち国内売上高は820億27百万円(同11.4%減)、輸出売上高は195億68百万円(同7.3%減)となりました。

ダイカストは主力の自動車分野が減少したこと、IT関連の需要減により電機・通信分野が減少したことなどにより売上高が減少しました。完成商品は国内外の市場が低迷したこと、販売競争・価格競争が激化したこと、前期に釣具事業を譲渡したことなどにより売上高が減少しました。

当期の期中平均為替レートは124円/US\$ (前期109円/US\$)、109円/EUR (同99円/EUR)となりました。

損益の面では、営業利益が47億90百万円(前期比34.1%減)、経常利益が47億40百万円(同34.5%減)、当期利益が28億34百万円(同4.7倍増)となりました。投資有価証券評価損、スポーツ用品事業の整理損などにより、特別損失を9億81百万円(前期91億11百万円)計上しましたが、投資有価証券売却益などの特別利益が10億16百万円(同8億64百万円)あり、特別利益の影響がほとんどないため、前期に比べて当期利益が改善しました。

設備投資は7億86百万円(前期比16.5%減)でした。

なお、当期末の配当につきましては、誠に不本意ではございますが見送らせていただくことにしました。

次期の見通し

今後のわが国経済は消費の低迷、価格競争の激化など、引き続き厳しい経営環境が続くものと予想されます。また、企業を取り巻く環境は想像を超えるスピードで変化しております。

予測の難しい状況ですが、当社は「経営健全化計画」を基本にして、各事業の規模の適正化と体質の強化、業績改善にいっそう注力してまいります。

現時点における当社の業績見通しは、次のとおりであります。

売上高	1,000億円(前期比1.6%減)
経常利益	49億円(同3.4%増)
当期利益	29億円(同2.3%増)

連結の業績見通し

売上高	1,450億円(前期比7.1%減)
経常利益	60億円(同20.0%増)
当期純利益	33億円(同58.7%増)

売上高はダイカストの自動車分野の減少などにより微減を、経常利益、当期利益はコスト構造の改善などにより微増を見込んでおります。

予想為替レートは130円/US\$、115円/EUR、設備投資は14億円を見込んでおります。

なお、早期復配をめざして「経営健全化計画」に全社一丸となって取り組んでおりますが、次期の配当につきましては、誠に遺憾ながら見送りとさせていただき予定にしております。

株主の皆様には引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成14年6月

取締役社長

浦上 浩



部門別の概況

売上高構成比(売上高合計1,015億円)

ダイカスト

売上高は前期比12.6%減少しました。自動車分野が減少したこと、IT関連の需要減により電機・通信分野が減少したことなどによるものです。軽量かつ耐久性に富み、リサイクル性に優れたアルミニウムダイカストは、省エネルギー、省資源など環境保全にも有効な技術として、あらゆる分野から注目されています。

652億円 / 64.3%

パワーツール

売上高が前期比1.9%増加(国内は前期比10.8%増加)しました。これは当期から外部調達する商品の購入ルートを販売子会社から当社に切り替えたことによるもので、国内外とも市場の低迷などにより、実際の売上高は減少しました。

小型、軽量、コンパクトをコンセプトに開発したライト付充電式インパクトドライバ、チェーンソーなどの新商品が好評でした。

123億円 / 12.2%

その他

売上高は前期比77.6%減少しました。前期に釣具事業を譲渡したこと、ゴルフ用品が市場の低迷などにより売上高が減少したことによるものです。

5億円 / 0.5%



170億円 / 16.7%

印刷機器

国内外の景気低迷により売上高が前期比2.8%減少しました。販売競争・価格競争が激化する中で、国内では印刷機器の新工場においてデモンストレーションを行うなど、積極的に販促活動を展開しました。また、日米欧で新世代のデジタルオフセット印刷機の本格的な販売を開始し、高い評価を受けました。



63億円 / 6.3%

建築用品

売上高は前期比7.2%減少しました。国内は首都圏を中心に大型ビルの建設が活況でしたが、全体的には住宅着工件数が減少するなど厳しい市場環境が続きました。



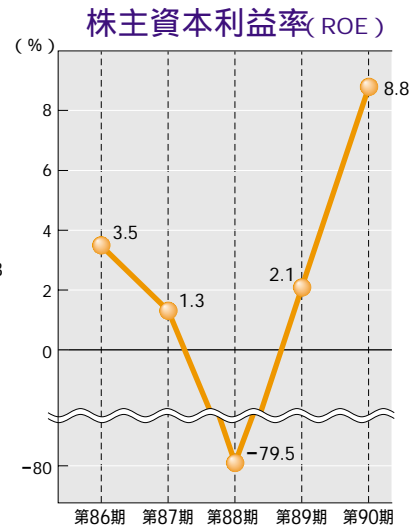
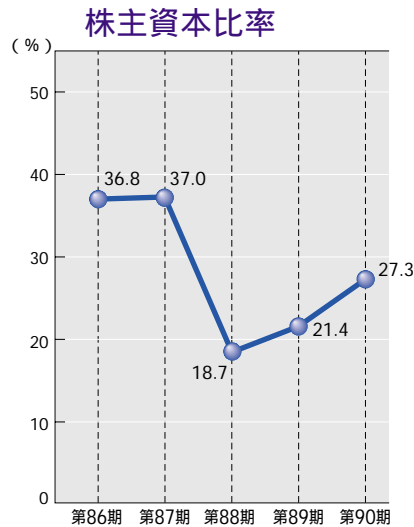
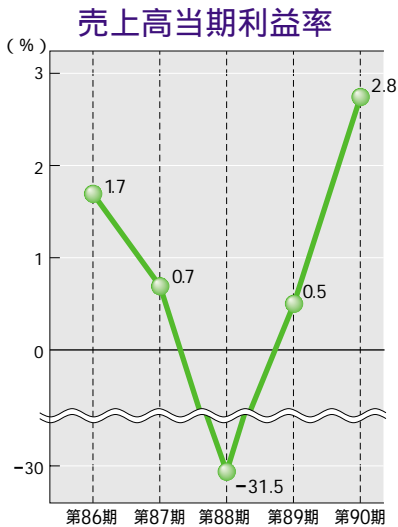
財務ハイライト

	第86期 (平成・月) 9.4 ~ 10.3	第87期 10.4 ~ 11.3	第88期 11.4 ~ 12.3	第89期 12.4 ~ 13.3	第90期 13.4 ~ 14.3
売上高 (百万円)	134,895	126,597	117,423	113,706	101,595
経常利益 (百万円)	5,165	3,536	1,898	7,239	4,740
当期利益 (百万円)	2,317	869	37,031	600	2,834
1株当たり当期利益 (円)	13.54	5.08	216.27	3.50	16.55
総資産 (百万円)	178,820	176,744	147,695	142,351	123,660
純資産 (百万円)	65,870	65,455	27,663	30,394	33,705
1株当たり純資産 (円)	384.69	382.27	161.56	177.50	196.85

(注) 1. 印は、当期損失及び1株当たり当期損失を示しております。

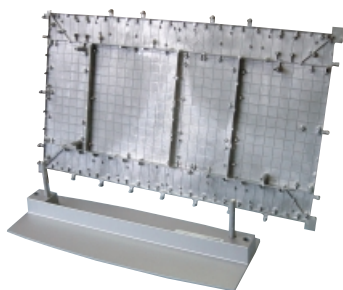
2. 1株当たり当期利益は、第89期までは期中平均株式数に基づいて、第90期は自己株式数を控除した期中平均株式数に基づいて算出しております。

3. 1株当たり純資産は、第89期までは期末発行済株式総数に基づいて、第90期は自己株式数を控除した期末発行済株式総数に基づいて算出しております。





ディーゼル車用V6シリンダーブロック



大型プラズマテレビ用シャーシ・スタンド



自動車の軽量化実現に 貢献するダイカスト製品

当社は、コンピューターを駆使した解析から金型の設計・製作、機械加工、組立に至るまでを一貫して行う世界トップクラスのダイカストメーカーです。軽量かつ耐久性に富み、リサイクル性に優れたダイカスト製品は、省資源、省エネルギーの面からも注目され、軽量化を目指す自動車の部品に数多く採用されています。特に、当社独自の工法により生産した「ディーゼル車用V6シリンダーブロック」は強度にも優れ、お得意先より非常に高い評価をいただいています。

新規分野のダイカスト化にも注力

軽量でリサイクル性に優れたダイカスト製品は、家電、OA機器、産業機械、建築用品など様々な分野で、多様化する用途やニーズに対して信頼の技術で応えています。

その一例として、大型プラズマテレビ用のフレームなどにダイカスト製品が新たに採用されました。これは、平成13年1月に導入した最新鋭の2500tダイカストマシンにより、軽量かつ大型な製品の生産が可能となったことによるものです。

英国アンドリュー王子が RAC(UK)を訪問

平成13年9月に、英国王室のアンドリュー王子がRYOBI ALUMINIUM CASTING(UK), LIMITED を訪問され、ダイカスト工場などを見学されました。王子からは、リョビの北アイルランドへの進出とその発展による地域への貢献に対する感謝のお言葉をいただきました。



印刷機器

生産性、印刷品質、汎用性を追求した「RYOBI 750シリーズ」を発売

生産性と品質で、高く評価された「RYOBI 680シリーズ」の機能を継承し、欧米で多く使用されているB2サイズの印刷を可能にした「RYOBI 750シリーズ」を発売しました。紙に合わせたガイド類のセットからインキ量の調整までを自動化し、高い印刷品質を保持しながら、生産性を向上させました。また、コーティングユニットや5色、6色印刷など付加価値の高い印刷も可能にしました。



菊半截寸延び高速オフセット多色印刷機 RYOBI 755 (タイプ5-D)

コストパフォーマンスに優れた印刷機「RYOBI 524HE」を発売

当社の長年の経験と実績に裏付けされた高性能メカニズムの数々を活かした「RYOBI 524HE」を発売しました。当社の高級モデルに匹敵する機能と、信頼性の高い印刷性能を継承しながらもコストパフォーマンスに優れており、世界中で高い評価をいただいています。



菊四截寸延びオフセット4色印刷機 RYOBI 524HE

「RYOBI 3404DI」が機械工業デザイン賞・グッドデザイン賞をダブル受賞

デジタル化による技術革新が急速に進む印刷業界の要求に応えるため、最新のデジタル印刷機「RYOBI 3404DI」の販売を開始しました。この度、「機能・性能」、「市場のニーズへの対応」、「環境への配慮」などの点が総合的に評価され、第31回機械工業デザイン賞「審査委員会特別賞」と2001年度グッドデザイン賞をダブルで受賞しました。





LEDライト



BID-121

ライト付の充電式インパクトドライバ「BID-121」を発売

ネジ・ボルトの締め付け、ゆるめ作業に使用する充電式インパクトドライバにライト機能を加えた新商品「BID-121」を発売しました。ハンマケース下部に、高輝度の発光ダイオード(LED)ライトを搭載し、暗い場所でもビットの先端を照らすことができます。作業効率がアップすることからお客様の強い支持をいただいています。



CS-2500

重量バランスに優れた軽量小型のチェンソー「CS-2500/3000/3600」を発売

丸太・枕木の切断、枝払いなどあらゆる木材切断作業が楽に行えるチェンソー「CS-2500/3000/3600」を発売しました。リョービ独自のハーフトップハンドルを採用し、重量バランスの向上をはかると共に、軽量小型化を行い、従来機に比べ操作性を高めています。切込長さの違いにより250mm、300mm、360mmと3モデルをラインアップしてお客様のニーズに応えています。

● 建築用品



引戸クローザ(SLS-2)

省スペース・低コストの引戸クローザ「SL-1/2シリーズ」を発売

レールを傾斜させ重力によりドアを閉じる「SL-1シリーズ」と、トルク調整可能なゼンマイバネによりドアを閉じる「SL-2シリーズ」を発売しました。ドア閉鎖速度の調整装置に新方式の機構を採用し、確実な制御が行えることに加え、省スペース、低コストを実現しました。



● その他のトピックス

「企業理念」をより分かりやすく

平成 3 年に策定した「企業理念」は、「存在意義」、「経営姿勢」、「行動指針」の 3 つの要素で構成され、価値観を共有化し、存在価値を明らかにしてまいりました。

平成 14 年 1 月に、「企業理念」をさらに分かりやすく、身近なものにするために、「技術と信頼と挑戦で、健全で活力にみちた企業を築く。」という表現にしました。この表現を社員 1 人ひとりが念頭におき、心を新たに未来へ挑戦してまいります。

企業理念

技術と信頼と挑戦で、健全で活力にみちた企業を築く。

企業理念の3つの要素

存在意義

明日をみつめる確かな技術で、人々の暮らしの中にゆとりと豊かさを創造する。

経営姿勢

社会との信頼関係を大切にし、社員の個性と創意が生かされた活力ある企業を築く。

行動指針

広い視野のもとに知性と感性を磨き、勇気をもって未来に挑戦しよう。

「リョービホームページ」をリニューアル

平成13年10月に、「リョービホームページ」をリニューアルしました。デザイン、ページ構成、コンテンツなどを新しくし、ナビゲーション機能も充実させ、情報をタイムリーに提供できるホームページにしました。

IR情報やリョービグループ情報なども掲載していますのでご覧ください。

リョービホームページ

<http://www.ryobi-group.co.jp/>



リョービグループで「ISO 14001」の認証取得を推進

当社をはじめリョービグループでは、環境マネジメントシステムの国際規格である「ISO 14001」の認証取得を進めています。平成14年3月末で、9社（13事業所）が取得を終え、今後も範囲を広げてまいります。平成13年5月には、リョービ開発(株) 庄原カントリークラブを経営が、ゴルフ場では西日本で初めて、全国でも5番目の取得をしました。農薬の使用量削減・松枯れ対策などクラブをあげて環境保全活動に取り組んでいることが認められました。



財務諸表 (単独)

貸借対照表 平成14年3月31日現在

(単位：百万円)

資産の部		
科目	当期	前期
流動資産	63,279	75,600
現金及び預金	7,885	9,766
受取手形	3,277	6,490
売掛金	27,164	32,992
有価証券	2,004	2,201
製品	9,456	9,816
原材料	2,267	2,065
仕掛品	7,317	8,152
貯蔵品	502	501
繰延税金資産	1,917	1,111
未収入金	1,464	1,872
その他の流動資産	94	783
貸倒引当金	73	152
固定資産	60,378	66,744
有形固定資産	30,516	32,057
建物	8,477	9,054
構築物	478	540
機械及び装置	3,609	4,180
車両運搬具	49	61
工具器具備品	1,082	1,338
土地	16,659	16,711
建設仮勘定	159	170
無形固定資産	422	627
投資等	29,439	34,058
投資有価証券	10,519	10,423
子会社株式	6,239	7,760
出資金	3,129	3,166
繰延税金資産	7,292	10,317
その他の投資等	2,411	3,156
貸倒引当金	153	766
繰延資産	3	6
社債発行差金	3	6
資産合計	123,660	142,351

負債の部		
科目	当期	前期
流動負債	65,008	75,655
支払手形	12,385	15,100
買掛金	8,466	10,830
短期借入金	17,300	18,850
1年内返済長期借入金	13,365	5,231
1年内償還社債	6,880	—
1年内償還転換社債	—	14,672
未払金	936	969
未払費用	2,031	3,006
賞与引当金	783	1,195
関係会社整理損失引当金	—	2,660
従業員預り金	1,332	1,348
割賦販売繰延金	872	1,038
その他の流動負債	654	751
固定負債	24,947	36,301
社債	—	6,880
長期借入金	21,820	27,035
退職給付引当金	2,982	2,231
その他の固定負債	144	154
負債合計	89,955	111,957
資本の部		
資本金	18,472	18,472
法定準備金	23,517	23,517
資本準備金	23,517	23,517
欠損金()	10,891	13,726
当期末処理損失()	10,891	13,726
(うち当期利益)	(2,834)	(600)
評価差額金	2,607	2,130
その他有価証券評価差額金	2,607	2,130
自己株式	0	—
自己株式	0	—
資本合計	33,705	30,394
負債・資本合計	123,660	142,351

(注) 1.有形固定資産の減価償却累計額 42,991百万円 42,572百万円
 2.受取手形割引高 1,091百万円 881百万円
 3.保証債務 20,274百万円 26,184百万円

4.時価評価により増加した純資産額 2,607百万円 2,130百万円
 5.自己株式保有数 3,723株 20株



損益計算書 平成13年4月1日から平成14年3月31日まで (単位: 百万円)

		科目	当期	前期
経常損益の部	営業損益	売上高	101,595	113,706
		売上原価	83,711	91,668
		割賦販売損益繰延金	165	184
		販売費及び一般管理費	13,260	14,588
		営業利益	4,790	7,265
	営業外損益	受取利息	221	323
		受取配当金	246	265
		賃貸料	658	717
		為替差益	450	772
		その他の営業外収益	366	342
	支払利息	1,423	1,614	
	その他の営業外費用	570	833	
	経常利益	4,740	7,239	
特別損益の部	特別利益	固定資産処分益	57	177
		投資有価証券売却益	752	657
		関係会社整理損失引当金戻入益	81	—
		貸倒引当金戻入益	124	29
	特別損失	固定資産処分損	111	326
		投資有価証券評価損	332	38
		子会社整理損	295	2,442
		子会社支援損	—	170
		関係会社整理損失引当金繰入額	—	2,660
		事業売却損	—	3,454
		事業整理損	204	—
		その他の特別損失	37	19
			税引前当期損益	4,775
	法人税、住民税及び事業税	51	38	
	法人税等調整額	1,889	1,645	
	当期利益	2,834	600	
	前期繰越損失()	13,726	14,326	
	当期末処理損失()	10,891	13,726	

損失処理 (単位: 百万円)

科目	当期	前期
当期末処理損失	10,891	13,726
合計	10,891	13,726
これを下記のとおり処理いたします。		
次期繰越損失	10,891	13,726

財務諸表 (連結)

財務ハイライト

	第86期 (平成・月) 9.4~10.3	第87期 10.4~11.3	第88期 11.4~12.3	第89期 12.4~13.3	第90期 13.4~14.3
売上高(百万円).....	232,996	242,773	240,074	184,282	156,139
経常利益(百万円).....	4,371	366	1,548	7,445	4,999
当期純利益(百万円).....	1,436	3,086	2,831	2,907	2,080
総資産(百万円).....	239,218	233,653	238,079	193,001	165,401
純資産(百万円).....	36,915	32,539	33,359	29,501	33,379

(注) 印は、経常損失及び当期純損失を示しております。

貸借対照表 平成14年3月31日現在

(単位：百万円)

資産の部		
科目	当期	前期
流動資産	82,725	104,459
現金及び預金	14,589	19,028
受取手形及び売掛金	31,646	44,788
有価証券	2,004	2,201
たな卸資産	30,026	34,226
繰延税金資産	2,017	1,187
その他	2,553	3,442
貸倒引当金	112	413
固定資産	82,673	88,534
有形固定資産	58,628	60,952
建物及び構築物	18,519	19,432
機械装置及び運搬具	15,611	15,641
土地	20,136	20,661
建設仮勘定	744	1,168
その他	3,617	4,048
無形固定資産	2,108	2,252
投資その他の資産	21,935	25,329
投資有価証券	11,217	11,260
繰延税金資産	7,594	10,556
その他	3,491	4,490
貸倒引当金	367	977
繰延資産	3	6
資産合計	165,401	193,001

負債の部		
科目	当期	前期
流動負債	95,428	115,766
支払手形及び買掛金	29,875	37,736
短期借入金等	44,061	43,258
1年内償還社債	6,880	14,672
賞与引当金	1,249	1,883
事業売却損失引当金	—	1,810
その他	13,361	16,406
固定負債	35,970	46,800
社債	—	6,880
長期借入金	26,821	32,088
繰延税金負債	797	1,230
再評価に係る繰延税金負債	700	—
退職給付引当金	5,110	4,116
その他	2,539	2,485
負債合計	131,399	162,567
少数株主持分		
少数株主持分	623	933
資本の部		
資本金	18,472	18,472
資本準備金	23,517	23,517
再評価差額金	610	—
欠損金()	4,106	5,651
その他有価証券評価差額金	2,641	2,229
為替換算調整勘定	7,689	9,000
自己株式等	66	64
資本合計	33,379	29,501
負債、少数株主持分及び資本合計	165,401	193,001



損益計算書 平成13年4月1日から平成14年3月31日まで(単位:百万円)

科目		当期	前期
営業損益	売上高	156,139	184,282
	売上原価	126,113	144,567
	売上総利益	30,025	39,715
	販売費及び一般管理費	23,661	29,576
	営業利益	6,364	10,138
営業外損益	営業外収益	1,837	2,239
	営業外費用	3,202	4,932
	支払利息等	2,379	3,677
	その他	822	1,254
	経常利益	4,999	7,445
特別利益	特別利益	1,082	910
	固定資産処分益	179	223
	投資有価証券売却益	752	659
	事業売却損失引当金戻入益	122	—
	その他	27	27
特別損失	特別損失	2,126	6,565
	子会社整理損	228	—
	事業売却損	—	3,899
	事業売却損失引当金繰入額	—	1,810
	特別退職金	564	158
その他	1,333	697	
税金等調整前当期純利益		3,955	1,790
法人税等		2,187	1,150
少数株主損益		312	33
当期純利益		2,080	2,907

剰余金計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
欠損金期首残高	5,651	8,555
欠損金増加高	534	3
役員賞与	4	3
土地再評価法適用に伴う 再評価差額金への振替高	529	—
当期純利益	2,080	2,907
欠損金期末残高	4,106	5,651

セグメント情報

(単位:百万円)

事業区分	売上高		営業利益	
	当期	前期	当期	前期
ダイカスト	99,485	108,201	5,508	8,099
印刷機器	22,693	23,173	638	742
住建機器	32,785	50,893	555	1,866
その他	1,568	2,520	342	602
消去又は全社	(394)	(505)	3	33
合計	156,139	184,282	6,364	10,138

(注) 1. 住建機器はパワーツール・建築用品が、その他はスポーツ用品がそれぞれの主要な商品となります。
2. 印は、営業損失を示しております。

株式の状況

会社が発行する株式総数 …… 500,000千株

発行済株式総数 …………… 171,230千株

当期末株主数 …………… 23,362名

株式の上場

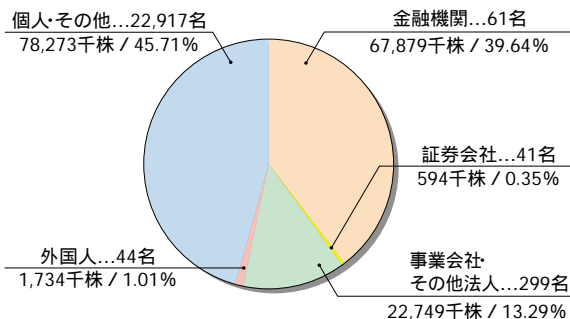
国内 …………… 東京・大阪の各証券取引所
 海外 …………… フランクフルト証券取引所

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
明治生命保険相互会社	9,300	5.43
日本生命保険相互会社	8,142	4.76
第一生命保険相互会社	8,067	4.71
日本トラスティサービス 信託銀行株式会社信託口	6,680	3.90
株式会社東京三菱銀行	6,090	3.56
菱工会持株会	5,357	3.13
財団法人浦上奨学会	4,850	2.83
住友信託銀行株式会社	4,519	2.64
三菱電機株式会社	3,400	1.99
三菱信託銀行株式会社	3,325	1.94

株式分布状況

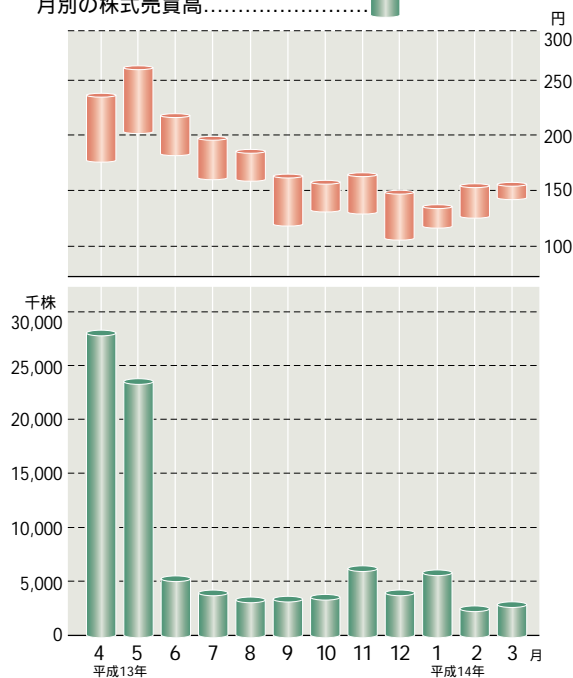
所有者別 合計 23,362名 / 171,230千株



株価及び株式売買高の推移

月別の最高株価・最低株価……………

月別の株式売買高……………



(注) 最高・最低株価、株式売買高は、東京証券取引所第1部におけるものであります。



会社の概要（平成14年5月31日現在）

社 名 リョービ株式会社
 英文社名 RYOBI LIMITED
 設立年月日 昭和18年12月16日
 資本金 184億7,219万円
 社員数 1,978名
 主要商品

1. ダイカスト製品
2. 印刷機器(オフセット印刷機、組版機等)
3. パワーツール(電動工具、園芸用機器等)
4. 建築用品(ドアクローザ、ヒンジ、建築金物等)

本社・支社・支店・営業所・工場

本 社 〒726-8628 広島県府中市目崎町762番地
 ☎(0847)41-1111
 東 京 支 社 〒114-8518 東京都北区豊島5丁目2番8号
 ☎(03)3927-5541
 東京支社虎ノ門分室 〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目7番1号
 虎ノ門セントラルビル4階
 ☎(03)3501-0511
 大 阪 支 店 〒569-1135 大阪府高槻市今城町24番12号
 ☎(0726)85-1122
 営 業 所 札幌・仙台・浜松・名古屋・富山・広島・福岡
 広 島 工 場 〒726-8628 広島県府中市目崎町762番地
 ☎(0847)41-1111
 広 島 東 工 場 〒726-0002 広島県府中市鶴飼町800番地の2
 ☎(0847)40-1600
 静 岡 工 場 〒421-3292 静岡県庵原郡蒲原町蒲原5215番地の1
 ☎(0543)85-3101
 印刷機器工場 〒726-0023 広島県府中市栗柄町444番地の1
 ☎(0847)45-5871

国内グループ会社 リョービマジクス株式会社
 リョービ販売株式会社
 リョービミラサカ株式会社 他8社

海外グループ会社 RYOBI DIE CASTING (USA), INC.
 RYOBI ALUMINIUM CASTING(UK), LIMITED
 利優比(大連)機器有限公司 他2社

役員（平成14年6月27日現在）

取締役社長	浦上 浩
常務取締役	三船 強
取 締 役	原田博之
取 締 役	吉川 進
取 締 役	田中孝雄
取 締 役	横山隆志
取 締 役	加村幹夫
取 締 役	室家士郎
常勤監査役	小林照三
監 査 役	深野博史
監 査 役	松本卓臣
監 査 役	鳥山 浩

「くらしごこち」がテーマです。



<http://www.ryobi-group.co.jp/>

株式事務についてのご案内

決算期	3月31日	名義書換代理人	東京都千代田区永田町二丁目11番1号 三菱信託銀行株式会社
配当期	利益配当金支払株主確定関係 / 3月31日 中間配当金支払株主確定関係 / 9月30日	同事務取扱場所	東京都千代田区永田町二丁目11番1号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
定時株主総会	6月中	郵便物送付先 及び電話照会先	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部 TEL(03)5391-1900(代表)
基準日	3月31日 (その他必要がある場合は、あらかじめ公告 いたします。)	同取次所	三菱信託銀行株式会社 全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞		

この報告書並びに決算短信等IR情報については、当社ホームページでご覧いただけます。